

四 條 畷 市

第1回 なわてふれあい商工まつり



商工まつり開催の背景（必要性・重要性）

景気が回復傾向にあるとされる昨今ですが、当市においては長期に渡った景気低迷、閉塞感から市内全般の企業に元気がありませんでした。

かねてより当市の総合経済団体である四條畷市商工会が地域振興事業に取り組むとともに、個々の商工業者に対して講習会や視察等を実施して、各企業の経営改善・発達を図ってきましたが、景気の長期低迷のつけは大きく、市内の商工業者数は倒産や廃業等により減少していました。当市としても市の活性化のためには商工業の回復が急務であると認識し、商工会と協力して打開策を検討することとしました。

商工会関係者と検討を重ねる中で、市の活性化と商工業の発展を考えたとき、最終消費者である市民の方は当市を、そして当市の商工業を本当に知ってくれているのか？という疑問に直面しました。

そこで、市民にもっと当市の商工業を知ってもらい、市の活性化へつなげようと「第1回なわてふれあい商工まつり」を計画することとなりました。

事業概要

平成17年11月13日（日）午前10時から商工会・市の共催で『みんなあつまれ～新鮮なわて大発見～「第1回なわてふれあい商工フェスタ」』を四條畷市総合センター及びその周辺において開催することとなりました。また、開催にあたっては、四條畷市商業連合会や大阪府、大阪府商工会連合会などにも後援いただきました。

地元の商業、工業、農生産物などのPR、消費者（市民）との交流、本市及び市商工会の紹介に努めるとともに市内産業の活性化を図ることを事業目的としました。

具体的な内容としては、商業・サービス関係として、「オールなわて1日商店街コーナー」を設置し、市内の商業・サービス事業者が1日限りの商店街を結成して行う即売会を6団体及び4事業所が参加し実施しました。また、「ミニあきんどコーナー」として市民参加型フリーマーケットを実施した他、各ブースで府内外の商工会がそれぞれの特産品のPRを行う「ミニ物産展」も実施しました。府外からは加茂町商工会（京都府）、広陵町商工会（奈良県）に参加いただきました。



また、「新鮮朝採り市場コーナー」として、地元農産物の即売、大阪府漁業協同組合連合会が特別参加（鮮魚等販売）して地場産野菜などのPRを行いました。

一方、工業・建設関係としては地元11事業者の展示や相談コーナーを設置して、企業やその製品の紹介に努めました。また、大学研究機関の紹介コーナーでは日頃の研究発表や各学校の紹介も行い（四條畷学園、大阪電気通信大学）、今後の産学連携の足がかりとなることを期待しています。さらに、実演・体験コーナーではショベルカーの体験オペレーション・展示やソーラーカーの展示（大阪産業大学提供）を行いました。

市商工会としては①商工会事業のPRコーナー、②新規創業・経営革新について、③税務相談（消費税対策）などのブースを設けました。一方、市のPRコーナーとして、①四條畷八景パンフ・てくてくガイドマップの配布や②市制35周年記念として製作した記念切手シートやJスルーカードの販売などを実施しました。

以上の他、市民ホールでは「なわてふれあい商工まつりINカラオケのどじまん大会」を実施し、まつりを盛り上げ、野外ステージでは「なわてふれあい商工まつりINライブステージ」として、市内の中学校の先生達によるおもしろ科学体験、また、商工会女性部による銭太鼓、商工会青年部によるぬいぐるみショー、二胡の演奏やヒップホップダンス、バリ舞踊、先着2,000名による大抽選会や野菜・果物の重量当てクイズなど多彩な企画内容で子供から大人まで多くの方々に楽しんで頂きました。



今後の展開

この「第1回なわてふれあい商工まつり」は、商工会をはじめ各種団体を巻き込む大事業となりました。計画から実施まで1年を超え、準備や調整等大変なことも多々ありましたが、開催当日は天気にも恵まれ、延べ5,200人にもおよぶ来場者があり大盛況のままに終わることができました。また、当初の目的である「市民のみなさまにも市内産業・市について広く周知する」ということについても達成することができました。

今後はこれを契機に更に内容を充実させて「商工業の発展」による活気ある地域づくりに取り組んでいきたいと考えています。